

# CMコンポのお手入れ方法

## ☆走行(車輪・レール上)部位

- ①走行車輪についているチェーンに1ヶ月に1~2回オイルを塗布して下さい。  
<オイル塗布箇所> チェーン 4箇所(片側2箇所ずつ)
- ②ベアリング部位グリスアップを1ヶ月に1回行って下さい。  
<グリス注入箇所> ベアリング 8箇所(片側4箇所ずつ)
- ③レール上に石などの障害物があった場合、脱線をする恐れがあります。  
定期的にレール上に障害物がないことを確認してください。

## ☆昇降部位

- 昇降部位チェーンそれぞれに1ヶ月に1~2回オイルを塗布して下さい。
- ④ 6箇所(片側3箇所ずつ)
  - ⑤ 2箇所

ベアリング部位グリスアップは1ヶ月に1回行って下さい。

- ⑥昇降ボックス内ベアリング 2箇所
- ⑦昇降上部ベアリング 8箇所(片側4箇所ずつ)
- ⑧昇降下部ベアリング 8箇所(片側4箇所ずつ)

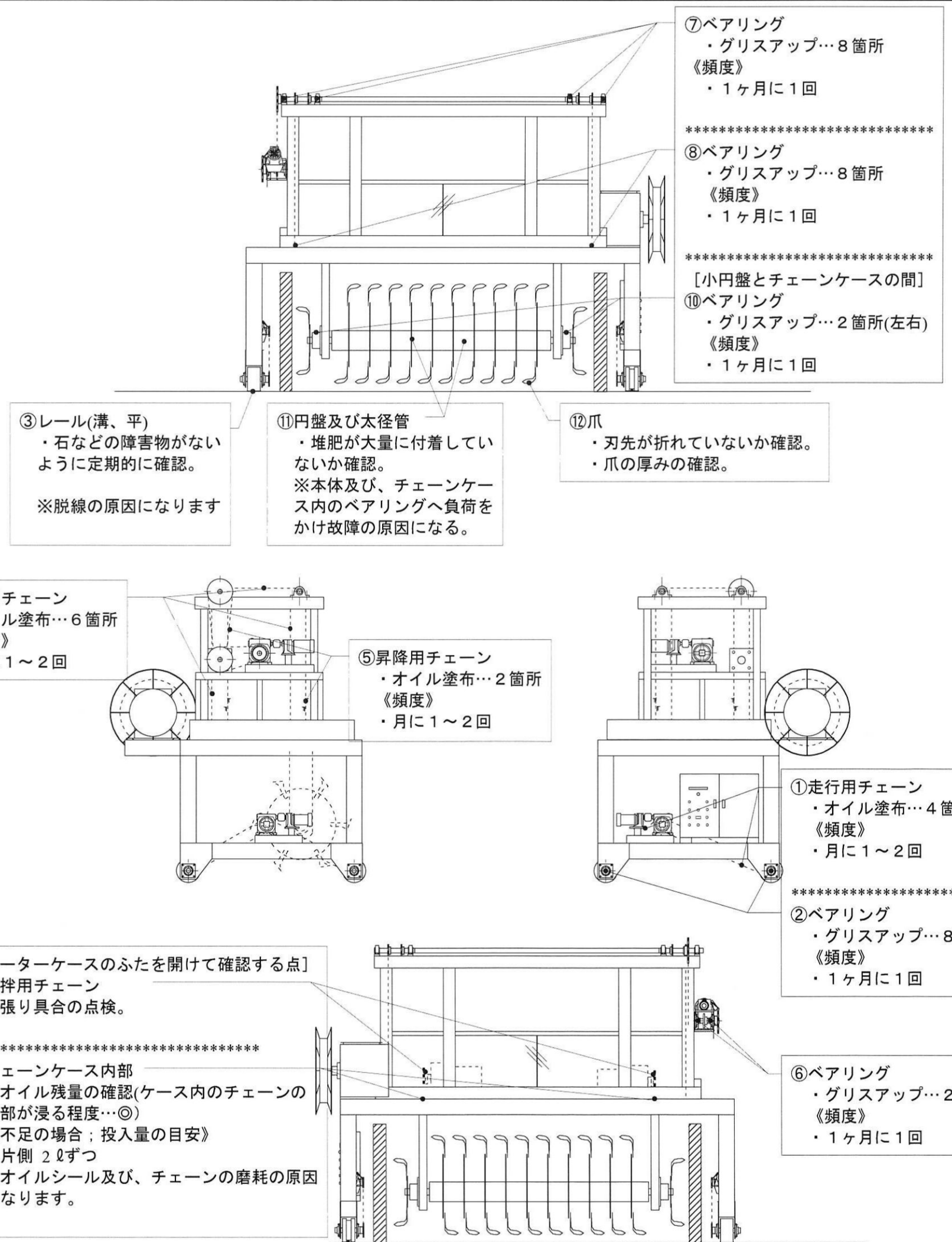
## ☆ロータリー攪拌部位

- ⑨チェーンケース内のオイルの点検は1ヶ月に1回行って下さい。オイルがなくなると、チェーンケース内の磨耗が激しくなり、オイルシールやチェーンを痛める原因になります。  
注：チェーンに油気がないということが、オイルが不足しているサインとなりますので、その場合は片側にオイル2リットルずつ注入して下さい。

- ⑩チェーンケース内のベアリング部位は1ヶ月に1回グリスアップを行って下さい。  
<グリス注入箇所> ベアリング 2箇所(片側1箇所ずつ)

- ⑪ロータリーのドラムに付着した堆肥は、定期的に掃除して下さい。  
注：堆肥が大量に付着した場合、本体に負荷が掛かり、振動する事があります。

- ⑫ロータリーの爪の点検を時々行って下さい。  
注：爪の耐用年数は、堆肥の種類や使用頻度によって多少異なりますが概算2年です。  
刃先が薄くなっている場合や、折れていると堆肥の移動量が減る原因となります。



- ⑦ベアリング  
・グリスアップ…8箇所  
《頻度》  
・1ヶ月に1回
- \*\*\*\*\*
- ⑧ベアリング  
・グリスアップ…8箇所  
《頻度》  
・1ヶ月に1回
- \*\*\*\*\*
- [小円盤とチェーンケースの間]
- ⑩ベアリング  
・グリスアップ…2箇所(左右)  
《頻度》  
・1ヶ月に1回

- ③レール(溝、平)  
・石などの障害物がないように定期的に確認。  
※脱線の原因になります
- ⑪円盤及び太径管  
・堆肥が大量に付着していないか確認。  
※本体及び、チェーンケース内のベアリングへ負荷をかけ故障の原因になる。
- ⑫爪  
・刃先が折れていないか確認。  
・爪の厚みの確認。

- ④昇降用チェーン  
・オイル塗布…6箇所  
《頻度》  
・月に1~2回
- ⑤昇降用チェーン  
・オイル塗布…2箇所  
《頻度》  
・月に1~2回

- [モーターケースのふたを開けて確認する点]
- ⑨攪拌用チェーン  
・張り具合の点検。
- \*\*\*\*\*
- チェーンケース内部  
・オイル残量の確認(ケース内のチェーンの下部が浸る程度…◎)  
《不足の場合；投入量の目安》  
・片側 2ℓずつ  
※オイルシール及び、チェーンの磨耗の原因になります。

- ①走行用チェーン  
・オイル塗布…4箇所  
《頻度》  
・月に1~2回
- \*\*\*\*\*
- ②ベアリング  
・グリスアップ…8箇所  
《頻度》  
・1ヶ月に1回
- \*\*\*\*\*
- ⑥ベアリング  
・グリスアップ…2箇所  
《頻度》  
・1ヶ月に1回